

委託事業実施内容報告書

平成20年度地域日本語教育支援事業【日本語教室設置運営】

受託団体名 けやきの会

1 事業の趣旨・目的

つくば市および近隣市町村の小学校に通う外国人児童を持つ、日本語中級レベルの保護者が、小学生の保護者として必要な日本語力を身につけるよう、日本語教室を設置し、支援する。また、日本の小学校教育に関する知識、日本の学校文化に対する理解を促進するよう、教育内容を工夫する。保護者が児童と共に学べるよう、外国人児童の教科学習支援も同時に実施する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
10月27日	根本、三浦、吉田、 金久保、亀田、山崎、 馬場 計7名	①授業の概要、教室の様子の 報告 ②授業内容について ③学習者管理について ④報告・連絡体系について	議事録資料① 参照
1月10日	根本、三浦、吉田、 金久保、亀田、山崎、 馬場 計7名	①教材の紹介と説明、および 検討 ②授業風景のビデオ視聴 ③問題点と改善策の提案 ④小学校側からの内容等 について要望	議事録資料② 参照

【写真】



1月10日運営委員会

議事録資料①

第一回 外国人児童を持つ保護者のための日本語教室 会議議事録			
実施日時	平成 20 年 10 月 27 日	14 時 30 分 - 16 時 00 分	
実施場所	筑波学院大学 2208 教室	記載者	馬場 裕
出席者	根本、三浦、吉田、金久保、亀田、山崎、馬場		
配布物	<ul style="list-style-type: none"> ・教授者日報用紙 ・学習報告用紙 ・学習者情報記入用紙 ・会話 1・2 読解 1・2 使用教材 		
議題	<ul style="list-style-type: none"> ①授業の概要、教室の様子への報告 ②授業内容について ③学習者管理について ④報告・連絡体系について 		
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の様子への報告 学習者：保護者 4 名 児童 7 名 保護者の日本語のレベルに差がある。 ・授業内容について 保護者：小学校の親同士の会話、学校文化、その他の常識的な話の場面を設定 学習者にとって新しく知ることが多く、質問やメモなど積極的に受講している様子 日本語のレベルに差があり、内容についてこられない学習者がいる。 児童：教室の前半は、各自の宿題・課題を行う。後半は全員で教室活動を行う。 家庭とは環境が違うこともあり、宿題・課題は楽しみながら積極的に行っている。 学生ボランティアとの関係も良好である。 教室活動時に、児童の活発度の違いや年齢差などから、活動が流動的になってしまい、ねらった成果を得にくい時がある。 ・学習者管理について 定期的にインタビューを行い、学習者の様子、変化を記録する。 児童は、伸びた面、良い面を中心に記録する。 児童同士のけんかやトラブルをどのように保護者に報告するのかを検討する ・報告、連絡体系について 授業の内容、学習者の様子は、授業担当者が日報で報告する。 アシスタントは、メーリングリストで授業内容・学習者の様子を報告する。 		

	ブログ担当者が日報の中から記事を選び、ブログとして外信を行う
検討事項	保護者の日本語レベルの差については、クラス分け・別メニュー等での対応の検討 児童の教室活動については、成果に応じてステッカー等を与えることで、各々のペースで活動に集中して参加させる。
備考	
次回会議 予定	平成 21 年 1 月 10 日

議事録資料②

第二回 外国人児童を持つ保護者のための日本語教室 会議議事録			
実施日時	平成 21 年 1 月 10 日 10 時 00 分 - 12 時 00 分		
実施場所	筑波学院大学 キャリア支援室	記載者	馬場 裕
出席者	根本、三浦、吉田、金久保、亀田、山崎、馬場		
配布物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回議事録 ・ 使用教材 		
議題	<ul style="list-style-type: none"> ①教材の紹介と説明、および検討 ②授業風景のビデオ視聴 ③問題点と改善策の提案 ④小学校側からの内容等について要望 		
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の紹介と説明、および検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容のレベルが学習者には難しすぎるのでは ・ 丁寧であることが重要ではないのでは。もっと内容重視でもよいという意見。 ・ 授業風景のビデオ視聴 ・ 問題点と改善策の提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定刻通りに始まらない <ul style="list-style-type: none"> → 授業実施の曜日、時間帯の再検討 ・ 継続して授業に参加しない <ul style="list-style-type: none"> 理由：実施回数（全 28 回）が多い → 小分け（1セット 10 回程度）にして、授業実施場所（地区）を変えて、同じ授業を何回か行う ・ 一部の学習者にとってはレベルが高すぎる（そこまで求められていないのでは？） <ul style="list-style-type: none"> → 対象者の見直し ・ 教材の言葉遣いでは丁寧すぎる <ul style="list-style-type: none"> → 「です・ます」が使えて、先生とコミュニケーションが取れる程度で十分 ・ 学校側からの要望 <ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんど日本語が話せない人に対する日本語教育支援 ・ 学校の日本語指導教員の講習会など、各学校の日本語指導教員同士 		

	が、情報や教材などを共有できるネットワーク
検討事項	来期実施時の形態 出席率向上のため、授業実施の曜日、時間帯の再検討
備考	

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

外国人児童を持つ保護者のための日本語教室

通称として「わいわい親子日本語教室」を使用。馴染みやすく、雰囲気伝わるように、と考えて使用した。

② 開催場所

筑波学院大学内 つくば市吾妻 3-1

③ 学習目標

【保護者】

- ・ 小学校から配布される具体的なお便りを読解し、よく使用される語彙、表現になれる。
- ・ 具体的な場面・話題(教師への以来、相談、要望)を設定し、ロールプレイと場面・話題に対するディスカッションを行い、小学校への働きかけへ自信を持てるような口頭表現能力を身に着ける。
- ・ 日本の学校文化に対する理解を深める。

【児童】

- ・ 教科学習の支援を寺子屋的な雰囲気で行うことで、日本語を使って学習する事になれる。

④ 使用した教材・リソース

- ・ 小学校から配布されるお知らせ、インターネットで公開しているお知らせ、宿題など
- ・ 自主作成教材(資料として添付)
- ・ ロールプレイに関する教材など

⑤ 受講者の募集方法

- ・ つくば市教育委員会の協力のもと、外国人指導が在籍する小学校を通じて周知・募集を行う。
- ・ 地域外国人情報誌に募集要項を掲載。
- ・ Weblog(<http://blog.livedoor.jp/wai2nihongo/>)での情報配信。

⑥ 受講者の総数 18人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 62時間 (全 28 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
1	9月22日 15:00-18:00	3時間	5人	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (3) オランダ・英語 (1)	教授者2人 補助者3人	学習目標、授業の内容を確認する。
2	9月29日 16:00-18:00	2時間	大人: 4人 子ども: 3人	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) オランダ・オランダ語 (1) — 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2)	教授者2人 補助者3人 通訳者3人	小学校説明 (時間割・資料) 校長先生に実際の学校状況について説明してもらう 当日のみ参加の日本語入門者等も参加する形式
3	10月6日 16:00-18:00	2時間	3人 3	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) — 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (自己紹介の発話練習・ 保護者同士の会話・挨拶)
4	10月11日 10:00-12:00	2時間	4 2	エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) — エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (学校からのお便りを回収⇒今後の授業で使用していく)
5	10月14日 16:00-18:00	2時間	4 5	エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) — エジプト・アラビア語	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (前回の復習・ 会話の始め方 質問の仕方・ ・会話の終わり方)

				(3) 中国・中国語 (2)		
6	10月20日 16:00-18:00	2時間	5 8	エジプト・アラビア語 (2) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) — エジプト・アラビア語 (5) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (学年だよりから、重要な部分を読み取る・お知らせの内容を知る)
7	10月27日 16:00-18:00	2時間	5 7	エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) シンガポール・中国語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (先生と保護者の会話 『～していただきたいんですが・・・』)
8	11月4日 16:00-18:00	2時間	4 5	エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 韓国・韓国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (お便りの形式復習、公開授業に関する資料の読み取り、よく使う表現の確認、)

9	11月8日 10:00-12:00	2時間	2 2	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1) — 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (子供の様子を説明・相談し、先生からアドバイスをもらう)
10	11月10日 16:00-18:00	2時間	4 2	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) シンガポール・中国語 (1) — 韓国・韓国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (連絡帳の働きについて説明し、事例などを提示しながら書き方を学ぶ。今までの経験についての話し合い)
11	11月17日 16:00-18:00	2時間	5 6	エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) シンガポール・中国語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (電話連絡網についての説明、連絡網の受け方、次の人へのまわし方、留守番電話に入れる場合)
12	11月25日 16:00-18:00	2時間	3 2	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1) — 韓国・韓国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (食事のマナーについての説明、各国での食事のマナーとの比較)

13	12月1日 16:00-18:00	2時間	5 6	エジプト・アラビア語 (1) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (2) シンガポール・中国語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (感謝の気持ちを伝える、お詫びの気持ちを伝える、具体的な状況を設定し、発表⇒反省点を指摘)
14	12月8日 16:00-18:00	2時間	2 1	韓国・韓国語 (1) 中国・中国語 (1) — 韓国・韓国語 (1)	教授者2人 補助者3人	パソコン、携帯のメールについての注意・マナーについて討論する。
15	12月13日 10:00-12:00	2時間	1 0	中国・中国語 (1) —	教授者2人 補助者3人	もらう・くれる、いただく・くださるをプリントを使って学習する。
16	12月15日 16:00-18:00	2時間	2 2	韓国・韓国語 (1) シンガポール・中国語 (1) — 韓国・韓国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	学校からのお便りを使って、読むスキルをあげる。現在の登下校のシステムを学習した。
17	12月22日 16:00-18:00	2時間	2 4	エジプト・アラビア語 (1) 中国・中国語 (1) — エジプト・アラビア語 (3)	教授者2人 補助者3人	自主作成教材 (日本のクリスマスについての説明、各国のクリスマスの過ごし方につ

				中国・中国語 (1)		いての発表)
18	1月5日	3時間	5 6	エジプト・アラビア語 (1) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (1)	教授者2人 補助者3人 通訳者3人	書道(書初め)体験や、おせち料理の紹介をした。
19	1月6日	6時間	2 0	中国・中国語 (2) —	教授者2人 補助者3人	茨城県笠間市にて神社見学と、陶芸体験をする。
20	1月10日 10:00-12:00	2時間	4 5	エジプト・アラビア語 (1) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 中国・中国語 (1) シンガポール・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	心配事やアドバイスをもらうに当たって、どのように聞くのかを学習した。
21	1月13日 16:00-18:00	2時間	1 1	中国・中国語 (1) — 中国・中国語 (1)	教授者2人 補助者3人	保険便りより、風邪に関する表現・対策を学

						習する。
22	1月19日 16:00-18:00	2時間	3 4	中国・中国語 (2) インドネシア・インドネシア語 (1) — 中国・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (3)	教授者2人 補助者3人	冬休み何をしていたのか話してもらい、久しぶりの日本語になれる。また自分の問題点を見つけた。
23	1月26日 16:00-18:00	2時間	1 3	エジプト・アラビア語 (1) — エジプト・アラビア語 (3)	教授者2人 補助者3人	カタカナの読み方を学習した。応用として、新聞からカタカナの抜き出しをし、学習に応用した。
24	2月2日 16:00-18:00	2時間	2 7	エジプト・アラビア語 (1) 中国・中国語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 中国・中国語 (1) 日本・日本語 (1)	教授者2人 補助者3人	子供を中心とした会話の作り方を学習し、実践した。
25	2月9日 16:00-18:00	2時間	3 5	エジプト・アラビア語 (1) 中国・中国語 (1) ペルー・スペイン語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 中国・中国語 (1) ペルー・スペイン語 (2)	教授者2人 補助者3人	申込書の種類と語彙の説明。申込書の書き方を学習した。
26	2月14日 10:00-12:00	2時間	3 4	エジプト・アラビア語 (1)	教授者2人 補助者3人	日本の祝日やそれに因んで

				中国・中国語 (1) ペルー・スペイン語 (1) — エジプト・アラビア語 (2) 中国・中国語 (1) ペルー・スペイン語 (1)		いるイベントを学習する。
27	2月16日 16:00-18:00	2時間	4 10	エジプト・アラビア語 (2) 中国・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 中国・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (1) 日本・日本語 (6)	教授者2人 補助者3人	楽しく学ぼう 日本語会話 14課を使用し、漢字を読むことに慣れさせる。 難しい言葉から簡単な言葉への言い換えをする。
28	2月23日 16:00-18:00	2時間	5 7	エジプト・アラビア語 (2) 中国・中国語 (2) インドネシア・インドネシア語 (1) — エジプト・アラビア語 (3) 中国・中国語 (1) インドネシア・インドネシア語 (3)	教授者2人 補助者3人	教科書：『楽しく学ぼう日本語会話』教材（スリ・グループについての説明。おれおれ詐欺の多発する実態。各国の犯罪について）

※ 全体を通して、子どもの指導の様子

・子どもたちに宿題、読みたい本を持ってきてもらうことにし、前半、あるいは後半に個別指導の時間を必ず取った。

・小学校ではやっているような遊び(こおり鬼、ケイドロなど)ボールを使った活動、トランプゲーム、折り紙(ひな人形作成)などを気候、好みに合わせて実施

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

10月27日 授業



・挨拶・講師紹介・自己紹介(新メンバーが参加した為)

・丁寧な言葉(前回の授業の復習)

・先生と保護者の会話(挨拶の仕方)

モデル会話①⇒流れ説明⇒詳しく内容理解

モデル会話②⇒流れ説明⇒詳しく内容理解

・丁寧ポイントの問題解き

・会話練習(モデル会話に沿ったプリント⇒ペア練習)

休憩

・発表練習《発音・イントネーション矯正・》

・発表(ペアのまま、皆の前で発表)

・フィードバック

・実際の会話をする上での注意点

(「です・ます」で話すこと、お辞儀をすること、先生は忙しいこと)

・記録記入(何を学習したかが、後でよくわかること、自分自身の記録として学習者に毎回記録を書いてもらうこととした)

1月5日



- ・ 日本のお正月を知る
- ・ 新年の挨拶(あけましておめでとうございます、今年もよろしくお願ひします…等)
- ・ 書初めの体験(小学校からの課題の字の練習、親御さんも体験)
- ・ 正月料理の説明、内容(どういったものが、どのような由来で食べられているのか…等)
- ・ 羽根つき、福笑いなど、お正月らしい遊びの体験

⑩ 支援者の名簿

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
馬場 裕	筑波学院大学情報コミュニケーション学部4年	日本語教育主専攻 インドネシア語中級	4回	庶務 運営委員
有沢 麻理子	筑波学院大学情報コミュニケーション学部4年	日本語教育主専攻 韓国語中級	4回	教材作成
鈴木 麻由	筑波学院大学情報コミュニケーション学部4年	中学校教職課程履修中(英語) 日本語教育主専攻	4回	教材管理
遠藤 由貴	筑波学院大学情報	中学校教職課程履修	4回	教材管理

	コミュニケーション 学部 4 年	中(英語) 日本語教育主専攻		
土生都 直哉	筑波学院大学情報 コミュニケーション 学部 4 年	中学校教職課程履修 中(英語)	4 回	子どもの状況 把握
木佐貫 美香	けやきの会講師	大学における日本語 教育副専攻レベル単 位取得(科目等履修 生) シンハラ語中級	4 回	教材作成
花見 さやか	筑波学院大学情報 コミュニケーション 学部 3 年	日本語教育主専攻 中学校教職課程履修 中(英語)	4 回	庶務
石田 三奈	筑波学院大学情報 コミュニケーション 学部 3 年	日本語教育主専攻	4 回	備品管理
段 麗君	筑波学院大学中国 語非常勤講師	日本語教師養成プロ グラム修了(筑波大 学修士課程地域研究 研究科)	2 回	通訳
村田 真理子	研究機関秘書	大学における日本語 教育副専攻レベル単 位取得	2 回	通訳
馬場 裕	筑波学院大学情報 コミュニケーション 学部 4 年	日本語教育主専攻 インドネシア語中級	1 回	通訳
有沢 麻理子	筑波学院大学情報 コミュニケーション 学部 4 年	日本語教育主専攻 韓国語中級	1 回	通訳

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

当初の学習目標

- ・ 一般の日本の学校に通う子供達を持つ、外国人保護者の学校に対する理解を深める
- ・ 学校との関わりについて学んでもらうこと

達成状況

- ・ 全体で学習者が継続して来た人は、少なかったため、学校に対する知識を完全に習得することはできなかった。
- ・ 前よりも、会話の仕方、資料の読み方など、学校についての知識が増えた
- ・ 具体的な場面で役立ったという学習者からの反応が多数あった
- ・ 小学校関係者からのヒアリングによると、以前は子どもの小学校での様子に関心を持つようになったとのこと。

② 学習者の習得状況(変化を中心に)

- ・ 重要な部分は日本語が堪能な子供自身に行わせる・知り合いの日本人に頼む

(自信のなさ・実際に自ら行動をとることが困難な様子)

⇒学校で必要とされる知識、会話方法の例などを具体的に説明⇒学習者たちの自信となった

- ・ 比較的会話に困らないレベル⇒その状況に合う言い回しを習得⇒本人の自信となる⇒実際の場面での活用

・ 日本語は簡単だからいつはじめても大丈夫といった思いこみ⇒自習することが難しいと意識する⇒教室に通う必要性を深く理解⇒この教室以外の日本語教室にも通い始める

- ・ その他、日本人とのやりとりに慣れたことにより、日本語で話してみよう、という意欲の改善が見られた

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

- ・ 1週間に1回の教室に参加することで、疑問点や、不安点を取り除かれ、心のケアにつながる
- ・ 語彙力だけでなく、それに伴う文化背景知識の習得が見られる。
- ・ 若い学生が入ることにより、あまりプレッシャーを感じずに質問したり、話したりすることができた。
- ・ 児童にとっても大学学生との交流(教授者とは違った立場の人間と関わること)で、日本語をより気軽に使うようになる。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

・

- ・ 地域の方との交流することで、非日本語母語話者に対するステレオタイプを取り除くことができる
- ・ 運営委員に学校関係者に入ってもらったことにより、学校からみた外国人保護者の問題、子どもの状況の把握に関するアドバイスがもらえ、授業内に活用できた。
- ・ 今回の教室について、他の機会(教育委員会における日本語指導者研修会など)に触れたところ、参加したい、見学したいなどの反響があった。
- ・ 近隣大学(筑波大学)およびつくば市国際交流協会との連携を進めようという動きにつながった。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

- ・ 教室設置の時間帯の問題と、授業参加人数の減少
市内のどの小学校も、どの学年も3時に帰宅できる曜日であることから月曜日の4時に設定した。しかし、9月スタートで、冬季に向かう時期であったことから、4時からの教室への参加を躊躇するケースが見られた。また、児童と一緒にの参加としたことから、児童の体調不良などにより、保護者が参加したくても、参加できない学習者も多かった。
- ・ 学習者のレベル判定
事前に面接を行い、学習者にはこちらの設定しているレベルおよび内容を説明していたが、教室スタート後に参加した学習者のレベルはバラバラで、教授者の判断で、準備していた内容を変更したり、別の教材を急遽考えたり、ということが多かった。

b. 今後の課題

- ・ 授業開催時間帯の検討
- ・ 外国人児童を持つ保護者の具体的なニーズを知り、どういった学習を望んでいるのかを知る
- ・ 上級日本語学習者ですでに小学校における日本語支援に支援者として携わっている外国人がいる。その方々からの、日本語の指導法、自身の日本語のブラッシュアップについての相談をうけた。このような方々の支援が必要。
- ・ 時間的に余裕のある日本人保護者と交流するような機会の設定。
- ・ 日本語がまだ不自由であるにもかかわらず生活のためには仕事を始めなければならない事情をもっているケースも多い。
- ・ 長く教室を開くよりは、短い教室をたびたび開いた方がよい、という意見もあった。

c. 今後の活動予定, 展望

- ・ 学習者へアンケートをとる
- ・ 作成中の教材の改定

- ・ クラスの時間設定、コースの確保など
- ・ 21年度の時間帯、期間の決定を急ぎ、広報を始める

⑥ その他参考資料

※ 作成した教材を印刷して、郵送

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。